

2016年度統計関連学会連合第4回理事会・組織委員会議事録

日 時：2017年4月22日（土）13:30 - 15:00

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス3号館8階809教室

出 席：

【2016年度学会連合理事】（学会名五十音順）

応用統計学会	永田 靖，栗本一哲
日本計算機統計学会	栗原考次，大石雅彦
日本計量生物学会	大橋靖雄，浜田知久馬
日本行動計量学会	岡太彬訓，菊地賢一
日本統計学会	岩崎 学，中野純司
日本分類学会	今泉一忠，中山厚穂

【2017年度学会連合理事】（学会名五十音順）

応用統計学会	永田 靖，栗本一哲
日本計算機統計学会	大石雅彦，足立浩平
日本計量生物学会	大橋靖雄，浜田知久馬
日本行動計量学会	岡太彬訓，菊地賢一
日本統計学会	赤平昌文，西郷 浩
日本分類学会	栗原考次，山本義郎

【連合大会実行委員会】 白石高章

【連合大会運営委員会】 川崎能典

【連合大会プログラム委員会】 谷崎久志

幹事 田中研太郎，松浦 峻

配付資料

1. 2016年度統計関連学会連合第3回理事会・組織委員会議事録（案）
2. 2017年度連合大会プログラム委員会
3. 2017年度統計関連学会連合大会について（第三報：作成中）
4. 2016年度連合大会会計報告
5. 連合理事会会計報告(2016)
6. 欧文ジャーナル（案）
7. 統計関連学会連合版「統計家の行動基準」（案）

前回議事録の確認

岩崎理事長より，2016年度統計関連学会連合第3回理事会・組織委員会議事録（配布資料1）が報告され，承認された。

組織委員会・議案および報告

1. 2017年度連合大会準備状況

(1) プログラム委員会

谷崎プログラム委員長より、配布資料2に基づき、以下の報告があった。

- ・チュートリアルセッション：3名に講演を依頼している。
- ・市民講演会：講演者については現在打診中。
 - 講演者への謝金についての懇談が行われた。
- ・企画セッション：24件の申し込みが来ている。
 - 川崎運営委員長より、例年、デモセッションも企画セッションの扱いとしているとのコメントがあった。この扱いにより、企画セッションのリストの追加・修正が発生すると考えられる。
- ・コンペティションセッション：計5セッションを設けており、標準で30名を想定しており、最大で37名までは受け付けられるとのこと。また、9月5日の午後の第2セッションに授賞式を予定しており、それまでにコンペティションセッションを終了させる必要があることなどが報告された。
- ・英語セッション：現在、企画セッションに3つの英語のセッションがある。
 - 中野理事より以下のコメントがあった。
 - 前回の統計関連学会連合大会（金沢）のときは、かなり多くの助成金があり、多くの海外の研究者を招待するための旅費も十分にあった。今回はそれほど余裕はなく、海外から招待できる人数も少なくなるのではないか。
 - 一般セッションのWeb申し込みフォームに、英語で発表してもよいかどうかのチェックボックスを付けるのはどうか。
- ・県人会：地域名を書いた札などを作って置いておくことなどを検討している。
 - 県庁や市役所の方なども統計に興味を持っているので、各県にどんな研究者がいるかがわかるとよいかもしい（岩崎理事長）。
 - 懇親会を2時間ではなく、2時間半やってそういうことができるかもしれない（白石実行委員長）。

(2) 実行委員会

白石実行委員長より、以下の報告があった。

- ・託児所：会場となる施設は託児所を設けるのに不向きであることなどから、民間の託児所を紹介する形で対応したいとの報告がなされた。

(3) 運営委員会

川崎運営委員長より、配布資料3に基づいて、以下の報告と懇談があった。

- ・予算案：予算案はほぼ例年通りであるが、今回、南山大学の会場費が無料であるため、

例年通りの参加費を設定した場合、80万円～90万円の黒字になる。そこで、配布資料3に案を記載したように参加費を下げることを検討したい、とのこと。これについて、黒字分を他の方法で還元することなどもあり得るという意見も出たが、実現するための負担などを考慮した結果、今回は、参加費を下げるという方向で検討していくことになった。また、南山大学より33万6千円の助成金を受ける。これらの助成金は、学生のアルバイト代と、消耗品等（領収書を後で提出する）に使用する予定である。

- ・Webサイト：4月18日に連合のWebサイトがリニューアルされ、英語のページもオープンした。翻訳はISSに依頼した。配布資料3における予算案の支出の部の下から5番目に翻訳の費用が入っている。
- ・参加者数：例年と照らし合わせ、おおむね800名程度の参加が見込まれると考えられる。その想定のもと、冊子やストラップは950部ほど用意する予定である。
- ・協賛広告展示の申し込み：現在4件の申し込みが来ている。
- ・学会展示ブース：会場の場所によっては、電源を用意することが難しいとの報告がなされた。また、掲示ボードを用意する必要があるのではないかという意見が出された。

2. 各種共催・協賛など

- ・白石実行委員長より連合大会における南山大学の共催の依頼があり、承認した。
- ・日本品質管理学会の椿広計会長より日本品質管理学会の連合大会への協賛の依頼があり、承認した。協賛により、日本品質管理学会で連合大会を宣伝していただけること、また、これまでの統計教育などでの協力関係も鑑み、以下の優遇処置を行う。また、共同での企画セッションを実施する。

(1) いずれかの学会への入会申込の意思が表明された場合、参加費は会員価格。

(2) チュートリアルセミナーへの会員価格での参加

- ・永田理事より、今後のことも考えると、協賛価格を設定しておくのがよいのではないかとの意見があった。

→ 川崎運営委員長より、Webページのシステム改修により、チュートリアルセッションおよび学会参加費について協賛価格を設定できるかどうかを確認したい、とのコメントがあった。

今後、協賛価格を設定するという方向で継続して審議していくことを確認した。

2016年度連合理事会・議案および報告

1. 2016年度会計報告

岩崎理事長より、配布資料5に基づき、以下の報告がなされた。

- ・統計関連学会連合大会からのサーバー代は本来10万円であるが、今回は2015年度、2016年度の両年の分を受け取った（2015年度分が未徴収であった）ため、20万円の収入になっている。

- ・連合理事会の事務はシンフォニカの田澤泉さんに担当していただいている。また、行動計量学会と分類学会以外はシンフォニカに事務運営を委託しており、田澤さんが応用統計学会と計量生物学会を、阿部美和子さんが統計学会と計算機統計学会を担当している。今後、欧文ジャーナルの発行など、シンフォニカへの事務作業委託が増えることが予想されるため、委託内容について十分に話し合っておく必要がある。

2. 欧文ジャーナルの扱い

配布資料 6 に基づき、以下の議論がなされた。

- ・毎年 250 万円および初期費用として別途 20 万円がかかる。統計学会の Journal of the Japan Statistical Society と計算機統計学会の Journal of the Japanese Society of Computational Statistics が、新しい欧文ジャーナルに切り替えになるため、これまでの予算を新しい欧文ジャーナルの予算に充てることになる。他の学会（応用統計学会、行動計量学会、計量生物学会、分類学会）の負担については今後検討する。
- ・計量生物学会、分類学会は、既に自前で導入している欧文ジャーナルがあるため、新雑誌への協力体制に関しては今後検討する。また、行動計量学会は、Behaviormetrika の改変に取り組み始めたばかりであり、人的また予算的な協力を検討はするが、大きな協力は難しい可能性が高いとのことであった。
- ・Springer との契約およびその窓口は統計関連学会連合となる。統計関連学会連合は任意団体であるが、Springer によると問題ないとのことであった。
- ・Springer より、アクセス数を増やすための戦略として、最初の 2 年間は、誰でもアクセスできるオープンジャーナルにするとのことであった。
- ・論文が購入された場合、一定額が各学会に分配が来る仕組みになっている。
- ・著作権は統計関連学会連合が持つことを検討している。
- ・次回の理事会で投稿資格について議論する。
- ・新しい欧文ジャーナルの導入は、邦文ジャーナルにおける英語の論文の掲載を妨げるものではないことが確認された。

以上の説明や議論の後、改革案が承認された。

3. 統計家の行動基準（倫理綱領）

配布資料 7 に基づき、議論がなされた。基本的には、この案で連合 WEB に掲載予定であるが、前案から改訂がなされているため、正式には改めて各学会の最終的な承認を得ることとなった。

4. 各種イベントへの後援

- ・日本学術会議第 3 部数理科学委員会の坪井俊委員長より日本学術会議公開シンポジウム「大変革時代に未来を探る数理科学の展開と深化」（2017 年 3 月 21 日（火）13:00～

17:30 開催) の共催の依頼があり, 承認した.

- 日本統計協会的美添泰人理事長より第 67 回統計セミナー「変容する消費の実態～インバウンド消費・電子決済から探る～」(2017 年 2 月 22 日 (水) 13:30～17:00 開催) の共催の依頼があり, 承認した.
- 日本品質管理学会椿広計会長より第 6 回科学技術教育フォーラム (2017 年 3 月 25 日 (土) 開催) の協賛の依頼があり, 承認した.

5. 連合 WEB サイト

連合の WEB サイトを刷新すべくチロロネットに依頼していたが, 事業委員会 (WEB 担当) を中心に議論し, 先日公開された. 英語のページも既に作っており, 公開済みであることが報告された.